



たまき 社協だより

2016.5 No.58

編集・発行 社会福祉法人 玉城町社会福祉協議会
〒519-0433 玉城町勝田4876-1
TEL 0596-58-6915 / FAX 0596-58-6916
ホームページ <http://tamasya.or.jp/>
E-mail tamasya@amigo2.ne.jp

たまきの元気人



ふれあいウォーキングの様子

健康しあわせ
委員会

町の健康づくりを推進するボランティア団体です。

健康しあわせと位置づけ活動をさせていただきます。

町のイベントなどで健康診断の受診啓発を行ったり、ウォーキングイベントなどを企画しています。

また、各地区での取り組みも行っています。ひとりではなかなか出来ない健康づくりも、みんなであれば地域全体が元気になり、地域のつながりも深まります。

会員は、随時募集しています。

まずは、自分の健康づくりからはじめてみましょう。

平成28年度 社会福祉法人 玉城町社会福祉協議会事業計画

事業方針

昨今、地域社会や家族構成のあり方が大きく変容し、社会福祉を取り巻く環境はこれまでの福祉制度の枠組みでは対応困難な新たな福祉課題へと変化し、地域コミュニティの活性化がなお一層強く求められるようになりました。

また、社会福祉法人をめぐっては、役割のあり方、制度上の位置づけなどについてさまざまな議論がなされており、社会福祉法人として地域のニーズに柔軟に対応し、福祉サービス・地域における公益的な活動についてどう取り組むべきか県内全域でその動きが加速化しています。

一方、継続的な事業としては、平成27年4月に施行された生活困窮者自立支援法を受け、第2、第3のセーフティネットとして県社会福祉協議会に立ち上がった自立相談支援センターと連携し当該町民に対して支援を強化するとともに、介護保険分野においても、

町が昨年10月から実施している『新しい総合事業の実現』に向け、高齢者等が地域で安心して住み続けられる仕組みづくりに取り組んでいかねばならないなど、地域住民や関係者との分野や立場を超えた横断的な連携、協働、ネットワークがますます必要となってきました。

以上を受け、本会は、地域福祉活動計画ともいえる『地域ふくし力向上計画』を着実に推進するとともに、様々な地域課題を解決すべく一歩でも地域福祉が前進するよう一丸となって取り組むことを事業方針とします。



たまき人のパネル作成の様子

事業実施項目

1. 法人運営

- ① 法人運営の経営体制の強化を図ります。
- ② 会員制度の推進並びに増強を図ります。
- ③ 社会福祉協議会の役割や活動を周知し、福祉活動への町民参加を促進する広報活動の強化を図ります。
- ④ 役員・職員の資質向上のため研修に取り組みます。
- ⑤ 各種関係機関・団体との連携強化を図ります。

2. 地域福祉事業の推進

- ① 老人福祉活動事業
 - ・ 身近な地域で福祉サービスを享受できる地域づくりを進めます。
 - ・ 高齢者サロン事業
 - ・ 給食サービス、安心配達事業の実施
 - ・ 楽笑会の開催
 - ・ ふれあい福祉サービス（ちよこボラ・新しい総合事業）

3. 相談・援助事業の推進

- ① 福祉相談機能の充実強化を図り、関係機関との連携のもとに問題解決に努めます。
- ② 生活福祉資金及び世帯更生資金の有効活用を図り、低所得者世帯の生活安定と福祉向上に努めます。
- ③ 日常生活を営むのに支障がある方に対し、福祉サービスの利用に関する相談・助言や、手続き・支払い等の援助を行います。

4. 受託事業の運営

- ① 高齢者福祉、青少年の育成、その他公共的活動の移動手段としたバス運行を行います。
- ② 高齢者などの外出支援のためのバス運行を行います。（元気バスの運行）
- ③ 各種福祉団体事業の運営を行います。
 - ・ 民生児童委員協議会の運営
 - ・ 老人クラブ連合会、町身体障害者福祉会、手をつなぐ親の会、町母子寡婦福祉会、町遺族会の5団体
- ④ ICTふるさと元気事業の運営を行います。（外出支援、安全見守り等の複合支援サービスの運営）

5. 各種募金活動の推進

- ① 日本赤十字社募金の積極的協力、地域福祉活動の財源確保に努めます。
 - ・ 日赤募金（5月）
- ② 共同募金活動を積極的にを行い、地域福祉活動の財源確保に努めます。
 - ・ 共同募金委員会の運営
 - ・ 共同募金（10月）
 - ・ 歳末助け合い募金（12月）
- ③ 災害義援金への協力・活動を行います。
 - ・ チャリティ募金活動

6. 在宅福祉事業の運営

- ① 介護保険サービス提供体制の充実強化を図るとともに、職員の資質向上に努め、良質で安定した介護保険サービスの提供を行います。
 - ・ 介護給付
 - ・ 予防給付
- ② 障害者総合支援法に基づくサービス提供体制の充実強化を図るとともに、職員の資質向上に努め、良質で安定した障害者サービスの提供を行います。
 - ・ 生活介護事業（夢工房たまき）
 - ・ 相談支援事業（みらい）
- ・ 地域活動支援事業（町単独事業）

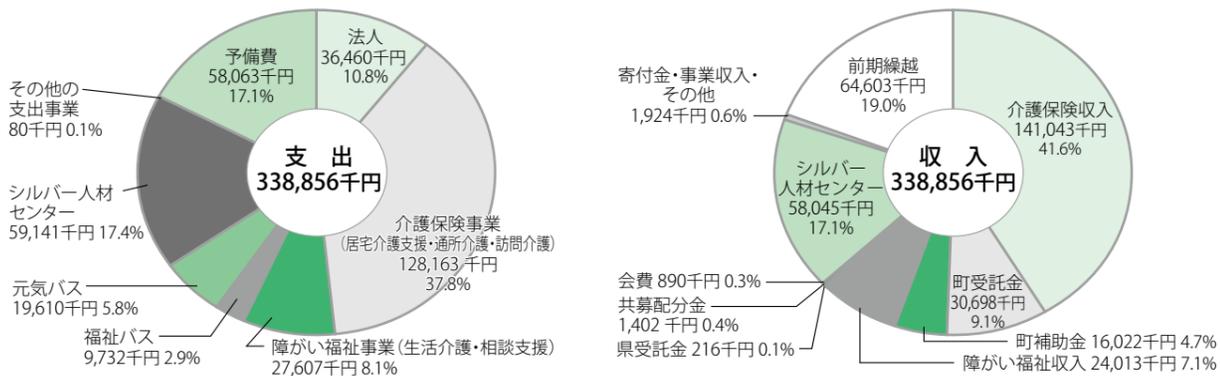
7. ニーズ事業の実施

- ① 地域住民の様々なニーズに対し、開拓性、創造性、即応性をもった事業を行います
 - ・ シルバー人材センター事業の運営
- ② 移動支援事業（ホームヘルプサービス）
- ③ 安全安心な移送サービスを提供します
 - ・ 福祉有償運送事業

※新しい総合事業

介護保険法改正により、65歳以上のすべての人を対象とした事業で、その人の健康や生活機能状態に合わせて「介護予防・生活支援サービス（訪問介護・通所介護の利用）」と「一般介護予防事業（講演会や運動講習などへの参加）」があります。社協の取り組みについては、次号で掲載いたします。

平成28年度 玉城町社会福祉協議会収支予算



- ② 福祉育成・援助活動事業
 - ・ 積極的に社会参加できる環境づくりに努め地域福祉事業を強化します。
 - ・ 元気ですたまき事業
 - ・ 委員会の運営
 - ・ あいさつ強化運動
 - ・ 元気ですたまきまつりの開催
- ③ ボランティア活動育成事業
 - ・ ボランティア活動及び福祉教育を推進します。
 - ボランティアを養成し、登録者の拡充と活動を支援します。
 - ・ ボランティアセンター活動の充実
 - 町内の全学校を福祉協力校に指定し、児童生徒の福祉意識の高揚と活動への積極的な参加促進を図ります。
- ④ 障がい児・者福祉活動事業
 - ・ 障がい者（児）の自立と社会参加を促進し、みんなの理解を深め交流の輪を広げます。
 - ・ はっぴいサークル
 - ・ たまりんピック

5月12日は、「民生委員・児童委員の日」です

(敬称略)

民生委員制度は、大正6年に創設された岡山県の「済世顧問制度」を源とし、来年(平成29年)、制度創設100周年を迎えます。毎年、「民生委員・児童委員の日」である5月12日から1週間を「活動強化週間」と定め、全国各地でさまざまなPR活動に取り組んでいます。



◆私たちの地域に、「民生委員・児童委員」と呼ばれる方々がいるのをご存じですか？

- 1 民生委員・児童委員とは
地域住民の立場にたつて地域の福祉を担うボランティアです。身分・厚生労働大臣から委嘱を受けた非常勤の地方公務員報酬・ボランティアとして活動するため給与はない。
- 2 民生委員・児童委員は
地域を見守り、地域住民の身近な相談相手、専門機関へのつな

ぎ役です

③主任児童委員とは？

子どもや子育てに関する支援を専門に担当する民生委員・児童委員です。

④民生委員は「民生委員児童委員協議会」に所属し、次のような活動も行っていきます。

- ・赤い羽根街頭募金活動 (10月1日)
- ・心配ごと相談事業 (毎月10日・30日)
- ・下校時安全パトロール
- ・挨拶強化デー(毎月第3火曜日)
- ・一人暮らし高齢者への絵手紙訪問事業(毎月)
- ・歳末安否事業「歳末まごころ弁当」配食
- ・敬老祝い金の配付事業
- ・学校訪問や入学式・卒業式への参列
- ・生活福祉資金貸付事業の相談や支援
- ・各学区にて一人暮らし高齢者と小学生との次世代交

流会のサポートなど住民が安心して生活できるような様々な取り組みをしています。

◆ご存じですか？ あなたの地域の身近な相談相手「民生委員・児童委員」

玉城町では、33名の民生委員・児童委員と2名の主任児童委員が厚生労働大臣から委嘱され、社会福祉協議会内に事務局を置いて活動しています。法に基づく守秘義務があり相談内容の秘密は守られます。



(左から) 松田会長、出口・前川両副会長

東日本大震災から5年 「私たちは、忘れない。」

震災から5年、あの日を今一度ふりかえり、防災を考え、災害に強い地域づくりに取り組むことが、本当の意味での「忘れない。」につながるのではないのでしょうか。

◆赤十字の活動資金にご協力をお願いします

5月は赤十字運動月間です。玉城町分区でも、募金運動という形で赤十字運動月間に取り組みます。この寄付は、災害が発生したとき、ただちに現地へと医療救護班や救援物資などを届けるために活用されます。

赤十字のさまざまな活動を即座に、継続的に行うためには、皆さまからの寄付が必要です。住民の皆さまの温かいご支援・ご協力をよろしく願います。

また、今年度より自治区向けにイベント用のテントの貸し出しを行います。これは、日赤交付事業により、各市町に配布されたものです。

生活再建
生活家電セットの寄贈 13万3,183世帯
仮設住宅入居世帯を中心に生活家電セット(テレビ、冷蔵庫、洗濯機、炊飯器、電子レンジ、電気ポット)を各世帯に届けました。(そのほか健康維持のためのノルディックウォーキング、浪江町民健康調査などを実施)

福祉サービス
社会福祉施設への介護士の派遣 4カ所 67人
被災地の福祉施設では、多くの介護職員が自宅を流されるなど被災しました。こうした介護職員を支援し、福祉サービスの質を維持するため、日赤の社会福祉施設から約2カ月間にわたり介護士を派遣しました。(そのほか介護用ベッド、福祉車両の寄贈などを実施)

教育支援
サマーキャンプ in 北海道 20回 5,788人
震災で心に大きな影響を受けた子どもたちに精神的安定と健全な成長を促す機会を提供するため、北海道の雄大な自然の中で行われた「サマーキャンプ」。平成24年と25年の2年間で計20回実施しました。(そのほか保育園建設支援、屋内遊び場の設置などを実施)

医療支援
石巻・気仙沼医療圏再構築(再建支援)
石巻赤十字病院を除く、ほぼすべての医療インフラが壊滅した宮城県の上三陸沿岸部。被災した公立病院などの再建を支援するとともに、将来への備えとして「災害医療総合センター」を石巻赤十字病院内に整備しました。

災害対応能力強化
防災倉庫配置支援 27市町村 432カ所
将来の大規模災害を見据え、避難所設営に役立つ機材を備えた防災倉庫を沿岸部の被災地域に寄贈しました。簡易トイレや浄水器、発電機、太陽光蓄電装置、避難所用パーティションなどが備蓄されています(そのほか日赤の災害対応能力強化などを実施)

原発事故対応
食品放射能測定器の寄贈 109台 9万43人
福島第一原発の事故により広がった食品の放射能汚染不安。こうした不安に応えるため、福島県などの自治体に食品放射能測定器を寄贈。市民から持ち込まれた農作物や飲料水の検査に役立てられました。(そのほか甲状腺モニターの寄贈、赤十字原子力災害情報センターの設置などを実施)

貸し出しについては、日赤募金にご協力いただいている自治区を対象とさせていただきます。申請については自治区区长からとなります。地域の集まりなどにご活用ください。

問い合わせ先
日本赤十字社 三重県支部
玉城町分区 Tel 58-6915

◆東日本大震災義援金の受け付けおよび送金状況のご報告

東日本大震災義援金に、多くの

平成28年2月29日現在
3,366億4,865万789円

※日本赤十字社で受け付けた義援金の合計額です。

(2) 送金・配分状況
①各都道府県に設置された「義援金配分委員会」への送金状況
3,779億9,677万8,136円

※日本赤十字社ならびに中央共同募金会は、各県に設置された義援金配分委員会からの依頼による

現在の義援金受け付け、送金状況をご報告いたします。

(1) 受付状況
平成28年2月29日現在
3,366億4,865万789円

※日本赤十字社で受け付けた義援金の合計額です。

皆さまから温かいお気持ちをお寄せいただきありがとうございます。全額を市町村を通じて被災者にお届けしています。

現在の義援金受け付け、送金状況をご報告いたします。

(1) 受付状況
平成28年2月29日現在
3,366億4,865万789円

※日本赤十字社で受け付けた義援金の合計額です。

◆東日本大震災復興支援事業 世界からの応援を被災者支援につないだ5年間

「被災者の力になりたい」東日本大震災では世界中からこうした温かな思いが日本に寄せられました。各国の赤十字を通じて日本赤十字社に寄せられた救援金は総額1,000億円以上。

日赤は、6つの分野でかつてない規模の様々な支援活動を実施してきました。

り合同で義援金を送金しました。上記金額は両団体からの送金合計です。

**桜まつり
福祉チャリティーバザー開催・報告**

桜の咲き誇る4月3日、桜まつり開催時にお城広場の屋内体育館でチャリティーバザーを開催しました。

これは、各福祉団体からなる実行委員会が中心となり、地域福祉活動の一環として、みなさんの協力を得て、行っているものです。バザーで得られた収益金

74,300円

今年も多くの方に利用いただき、収益をあげることが出来ました。

なお、収益金は、国内被災地への義援金として充てています。ご協力ありがとうございました。



チャリティーバザーの様子

**元気ですたまき委員会報告
ふだんのくらしのしあわせ**

委員会は、4期の2年目に入り、具体的な活動を展開していきたいところですが、

4月3日、町の桜まつり会場において、「あいさつ強化デー」の啓発活動を行いました。

来場者にあいさつ強化デーの認知度アンケートを行い、120名がアンケートに回答いただきました。結果は以下のとおりです。

毎月第3火曜日が『あいさつ強化デー』と知っていますか？		知らない	知っている
19歳以下	36	11	
20~30代	11	13	
40~64歳	10	10	
65歳以上	22	7	
	79名	41名	

まだまだ、周知が足りないことが分かりました。

「あいさつ」は、人と人がお互いを認め合う大事な意思表示です。あいさつをすることは、当たり前のことですが、地域の中でよい関係を築き、それがまた自分を支えてくれることに繋がります。

コミュニケーションアップの第一歩として、今後も輪を広げていければと感じました。

まずは、家庭内から…。

春のはっぴいサークル活動報告

障がいのある子どもたちが長期休暇中に過ごす活動の場「はっぴいサークル」を3月26日(土)に開催しました。

今回は平成27年度最後の活動です。

午前中は、アグリでのパン教室に参加しました。

ものづくり大好きな子どもたち、真剣な表情で集中しています。ウインナーパンにアンパン、「見本に作ってもらったハリネズミいなし」は、車をつくる」など自由に好きな形のパンも作りました。



パン作りの様子

焼き上がりは、スタッフに任せて、昼食とお昼からの活動を行う中央公民館に移動。

昼食を済ませたあとは、魚釣りゲームやストラックアウトなど4つのゲームを回る「ゲームラリー」でみんな楽しみ、小さな子供から高校生、スタッフも大いに盛り上

社会福祉大会 一行詩に込められた思い

2月11日に行いました玉城町社会福祉大会では、「しあわせの一行詩」を募集いたしました。

ご応募いただいた作品には、そ



大きなボールを使っでのレクリエーション

がりました。

最後は、思い出を形に、絵日記づくりを行いました。

進級・卒業の時期を迎え、はっぴいサークルでもミニ卒業式を開き、お祝いしました。

活動の中で、子ども同士が仲良く遊んだり、注意し合ったり、時にはケンカすることもあったけど、大きな子が小さい子を気遣いする場面も見れ、子どもたちのこの一年の成長ぶりがうかがえる春の活動になりました。

手話つちカフェオープン

「手話を習ってみたい」「手話に興味がある」との声が多く寄せられるようになり、3月21日佐田のさんておる食堂(身障者就労センター)上々運営をお借りして、



手話体験会の様子

体験会を実施いたしました。参加者は、19名。聾啞の方、手話が使え方、初めてふれる方が集まりました。

まずは、輪になり、自己紹介を行いました。聾啞の方、手話のできる方にリードしてもらい、自分の名前や「好き」「嫌い」の手話を使いながら「季節」をテーマに、自分のことについて話しました。

その後、3つのグループに分かれ、会話の中で、手話の表現について学び合いました。

堅苦しい学びの場ではなく、参加者同士の会話の中で、手話にふれたり、障がいの生活にふれることが出来ました。

その場を和ましてくれる一つとして、さんておる食堂の「野菜クッキー」や「うーどうなっつ」ドリンクを頂きながら、会話も弾んでいました。

4月29日にも開催し、今後も実施の機会を作っていく予定です。

平成27年度「しあわせの一行詩」優秀作品

賞	氏名	小学校名	学年	作品	作品への思い
特選	南出 藍志	外城田	4	あったか〜い。お母さんの手と重なった一瞬。ふわっと心もあったかくなった。お母さんの手の間にぼくの手。	寒い朝、お母さんから荷物を受け取った時、手に一瞬ふれただけなのに、とってもあったかくて、思わず気持ちよくて、手をあつためてほしくなった。するとお母さんから手をにぎってくれた。
元気ですたまき委員会賞	八木 琴香	下外城田	6	朝起きると、家族が「おはよう」と言ってくれ。一日が楽しくはじまりそうだと思った。	毎日、私が「おはよう」と言う。家族が「おはよう」と言う。温かい言葉を感じたから。
健康しあわせ委員会賞	戸上 夕菜	田丸	6	夏休み、福祉会館へ行き、高齢者の方とふれあった。笑っているのを見てると、少し心がくすぐったかった。	将来の夢は、介護士で、夏休みに、お年寄りの方とふれあいたくて、行くと、あるおじいさんと出会い、一緒に笑いあった。すると、心がくすぐったくなって、もっとお年寄りの方としゃべりたくなった。
入選	南出 哲志	外城田	4	お留守番。さみしいけれどがまんがまん。早く帰ってきてほしいな。ぼくのあたたかい家族。おかえりなさい。	ぼくは、お留守番をしている時のことを詩にしました。一人でお留守番をして、初めて家族がいる時の安心感、温かさを感じました。
	見並麻理菜	田丸	4	学校で、あんまりしゃべってなかった子と久しぶりにしゃべってみた。友達の大切さを感じた。	あんまり仲のいい子がなくて、その子としゃべってみたら、すごくやさしい子だった。
	山口 心里	下外城田	6	妹と同じベットで寝た。正直、せまくて寝にくい。でも「明日も一緒に寝ていい？」という言葉にうれしく思う。	せまいし、きゅうくつだし、寝にくいのに一緒に寝るのをうれしく思っている私。「明日も一緒に寝ていい？」と聞かれると「いいよ」と答えてしまいます。これからも一緒に寝ようね。

【一般の部】

賞	氏名	作品	作品への思い
特選	下村謙之助	自然豊かなこの町に 住めば絆で結ばれて グラウンドゴルフの球打れば 老を忘れるホールイン	町の「グラウンドゴルフの会」に入会し、高齢であっても、練習し、競い合い、みんなが仲間との会話あり、笑顔ありで、日々を過ごせることに、幸せを感じます。
元気ですたまき委員会賞	田中友香子	玉城で生活し始めて “感謝♥感激”の毎日! “たまぎ”の愛うれしい…しあわせ♥	私が玉城に引っ越してきて生活してから病気になって、そこで、こちらの「福祉の充実」さや環境のすばらしさに気付いて感じました。玉城との出会いしあわせです。
健康しあわせ委員会賞	潮田美奈子	おじさんが初めて私叱ってくれたもう一人の大切な大切な父へ いつもありがとう	幼くして、病気で両親が亡くなりましたが、父の弟である私にとっておじさんは、ずっと両親の変わりをしてくれました。本当に嬉しく幸せ。その想いを感じたとき、それは亡き父のおもかげをおじさんを感じたときでした。

それぞれの場面があり温かい気持ちが入められています。皆さんにも気持ち共有いただければと思います。優秀作品に選ばれたのは、以下の作品です。

「元気で たまき まつり」開催

平成28年6月5日(日)

開催時間／10:00～14:00(雨天決行)

場 所／玉城町保健福祉会館

テ ー マ／『和から絆へたまき人』

今年も、福祉のイベントとして、地域の方々に楽しく、また身近に福祉・ボランティアの大切さを感じていただくことを目的に開催します。

- ・健康チェックコーナー（役場生活福祉課）
 - ・笑みの市（商工会女性部）
 - ・福祉施設、ボランティアの活動啓発
 - ・福祉体験コーナー
 - ・地域でのさまざまな活動のPR
 - ・チャリティービンゴ ほか
- じゃがバターなどのふるまいもあります。

どうぞご参加ください。



昨年の様子

団体や地域のつながりを
町内に広げていきましょう!!

活動を知ってね。
活動を体験してね。
活動に参加してね。

平成28年度社協会費にご理解をお願いいたします。

～ 社協会員となって、間接的に福祉のまちづくりへご参加ください。～

社協が取り組む地域福祉活動には、高齢者・障がい児者支援・ボランティア支援などの活動があります。その活動を支える貴重な運営資金のひとつが、皆さまからいただく「会費」となっています。主に小中学校で行う福祉の取り組み支援を行っている「福祉協力校の活動費」に充てられています。

安定した財源確保のため、福祉活動にご理解ご協力いただきますようお願い申し上げます。会費の受付は、社協窓口にて行っております。なお、会員になられた方には、車イスの無料貸出や福祉に関する情報提供を行っています。

会員の区分（年額）

個人会員（世帯単位）	会費1口	300円
団体会員（福祉施設及び団体、企業等）	会費1口	5,000円
賛助会員（一定額以上の会費納入者）	会費1口	10,000円



身近な社協相談窓口ご案内

心配ごと相談(予約不要)

毎月10日、30日 13:00～15:00 玉城町保健福祉会館にて
相談員：民生児童委員、人権擁護委員、行政相談員

玉城町社会福祉協議会の情報を発信中!!

- ・ホームページ <http://tamasya.or.jp/>
- ・ブログ 「元たま日記」
- ・フェイスブック 覗いてみてください(^o^)

ご寄附ありがとうございました。(1月～3月)

喫茶白ゆり様	23,820円
パナソニックデバイス労働組合伊勢支部様	48,663円
阪井昌子様	10,000円
田村禎草様	30,000円
日本真道流剣詩舞会様	36,664円
リズム 林小夜子様	8,583円
カラオケ愛好会真心 服部美代子様	15,605円
元氣バス募金箱	130,910円